

28年度アンケート 全高長就職対策委員会 全普高キャリア教育研究委員会

- (1) 回答は、下記の要領と別紙の回答用紙（エクセルファイル）のコメントに従って回答をお願いします。回答は、該当するものを選択する場合は、「1」を入力下さい。それ以外は、数値または記述で回答してください。
- (2) *は各県代表校長が回答する項目です。県として回答するために参考となる、各校の状況等を回答してください。
- (3) 結果をエクセル様式の別添回答ファイルに転記して県の代表校長に送付してください。
- (4) 記述は簡潔にお願い致します。回答をまとめるに際しては、多様な意見は集約してご記入くださいますようお願いいたします。

I 高校生の就職に関する状況について

A 求人数の増減・採用内定取り消しなど

1. 貴校の平成27年度の求人数の総数は、平成26年度と比較して、何%ぐらいでしたか。（増は+をつけない、減は-を付ける。少数点以下第一位四捨五入する。以下数値の扱いは同様に）
2. 調査時点までで貴校の平成28年度の求人数の総数の増減は平成27年度に比べてどのようになりそうですか。該当するものに「1」を入力してください。
 - ①. 増加 ②. 減少 ③. わからない
3. 貴校で、平成27年度採用内定後に、内定取り消しとされた事例がありましたか。（③、④の場合は、「1」を入力してください。）
 - ①. あった（件数） ②. あった場合のその後をお答え下さい。【ア 再就職先を見つけられた（件数） イ 再就職先は最後まで見つけられなかった（件数）。ウ 不明（件数）】 ③. なかった ④. わからない
4. 採用内定取り消しがあった場合、どのような具体的な対応策を講じましたか。簡潔に記述でお答えください。
5. 貴校で、平成28年4月以降就職した生徒（27年度卒業生）の状況で把握できた範囲でお答え下さい。
 - ①. 求人票通りに就職できなかった（件数）
 - ②. ①の具体例をお答え下さい。 ア 勤務地等の勤務条件が変わった（件数） イ 待機を命じられた（件数） ウ その他（簡潔に記述で）
 - ③. その他（簡潔に記述で）
6. 平成23年3月の大震災から5年間たちまちましたが、就職活動や就職指導で気がついたことや新たな変化がありましたか。（特に、被災県の状況などについて情報をお寄せください。）
7. 貴校では、高等学校における新規高卒者の就職選考開始日は、次のうちどれが望ましいとお考えですか。また、その理由を⑤に簡潔にお書きください。
 - ①. 9月1日以降 ②. 9月16日（現行通り） ③. 10月1日以降 ④. その他 ⑤. 理由

B 「違反選考等」があった場合、違反事例を簡潔に1に記述してください。その後の対応策の中から貴校で、もっとも必要と思われるものを2①～2④から1つ選んで入力してください。

- 1 違反事例を簡潔に回答してください。
- 2
 - ①. 事実を確認し、ハローワーク、教育委員会等に報告する。
 - ②. 事実を確認し、違反等がないように関連諸機関に指導してもらう。
 - ③. 事実を確認し、「内定を辞退」させる。
 - ④. その他

C 就職未決定者（就職希望で、未定の者）の状況

- 1 貴校の就職未決定者（就職希望で、未定の者）の状況をお聞きます。（①、③、⑤のどれか一つに「1」を入力した後に必要事項を入力してください。全てに該当しない場合は、⑥に記述をしてください。）
 - ① 27年度の就職未決定者数は前年度に比べて多かった。
 - ② ①の数値を%でお答えください（就職希望者で未決定者の%）。
 - ③ 27年度の就職未決定者は前年度並みであった。
 - ④ 27年度の就職未決定者は前年度に比べて少なかった。
 - ⑤ ④の数値を%でお答えください。
 - ⑥ その他
- 2 貴校では、就職未決定の生徒について、卒業後、どのような支援をおこなっているかをお聞きます。（該当するものに必要事項を入力してください。）
 - ①. 卒業後もハローワークなど行政支援について学校から個別に情報提供している。

- ②. 学校に窓口を設置している。
- ③. 特に何もしていない。
- ④. その他。(簡潔に)

D フリーター問題への対応…ここでは、アルバイトを選んだ卒業生と考えて回答をお願いします。

(フリーターの定義は、内閣府、厚生労働省によると学校卒業生で15歳から34歳までで、学生、主婦でない者のうちパート・アルバイト・派遣等で働いている者、働く意思のある無職の者をいう)

1. 貴校の27年度の卒業生のフリーター比率をお聞きします。(①、③、⑤のどれか一つに「1」を入力した後に必要事項を入力してください。全てに該当しない場合は、⑥に記述をしてください。)
 - ①. 27年度、フリーター比率は前年度に比べて多かった。
 - ②. ①の数値を%でお答えください。(約何%増)
 - ③. 27年度、フリーター比率はほぼ前年度並みであった。
 - ④. 27年度、フリーター比率は前年度に比べて少なかった。
 - ⑤. ④の数値をお答えください。(約何%減)
 - ⑥. その他(記述で)
2. 貴校でのフリーター防止の指導状況をお聞きします。(該当するもの1つを選び入力してください。)
 - ①. 学校ではフリーターは好ましくないと力を入れて指導している。
 - ②. 学校ではフリーターは進路指導の一つの選択肢として消極的だが認めている。
 - ③. 学校ではフリーターは進路指導の選択肢としている。
 - ④. その他
3. 学校でフリーター防止の指導を行う場合、指導上の課題・困難な点をお答えください。(該当するものすべてに入力してください)
 - ①. 生徒がフリーターを進路の選択肢の一つと認識しているので、就職指導ができにくい。
 - ②. 家庭がフリーターを進路の選択肢の一つと認識しているので、就職指導ができにくい。
 - ③. 多くの教員がフリーターを進路指導の選択肢の一つと認識しているので就職指導ができにくい。
 - ④. その他

E 複数応募制度の状況など

厚生労働省と文部科学省の指導により、全都道府県で複数応募制が実施されています。(※は県全体のことについて回答していただくものです。)

1. 27年度について
 - ①. 一次から複数応募・推薦制を実施する。
 - ②. 一次(選考開始日)は「一人一社制」で、二次(月日を決定して)から複数応募・推薦で対応する。
 - ③. ②の月日を記入してください。
2. 昨年度、複数応募制度により、就職内定が決定した事例があった場合に件数を教えてください。
- *3. 複数応募制度に伴う指導上の具体的な取り決め、申し合わせ事項が「県」や「地域」単位でありますか。
 - ①ある ②ない ③不明
- *4. 3で申し合わせ事項がある場合に、以下の項目で具体的に簡潔にお答えください。
 - ①. 受験申し込み、応募に関して、簡潔に
 - ②. 複数合格の場合の内定辞退に関して、簡潔に
 - ③. その他の事項に関して
5. 昨年度以降、複数応募制の実施に際して、貴校で申し合わせ事項に変更がありましたか。
 - ①ある ②ない ③不明
6. 5で変更がある場合、変更点を簡潔に記載してください。
7. 昨年度複数応募制の実施により、就職活動で何か問題がありましたか。
 - ①ある ②ない ③不明
8. 7で①のある場合、問題点を簡潔に記載してください。

F ジョブサポーターの配置状況について

ジョブサポーターはワーク等)に所属し、学校訪問による就職の個別相談や、企業訪問による求人開拓等様々な形で学校の就職活動を支援しています。27年度の県でのジョブサポーター(就職支援相談員)の配置の状況をお聞きします。

- ①. ジョブサポーター(就職支援相談員)を配置している。
- *②. ①の数値を%でお答えください。(県で配置を受け入れている学校%)

- ③. ジョブポーター（就職支援相談員）の配置計画がある。
- ④. ジョブポーター（就職支援相談員）の配置計画がない。
- ⑤. その他、ジョブポーター（就職支援相談員）配置が引揚げられた等。

G 就職状況が上向く中で、学校としての取り組み・・・学校として就職決定に有効な取り組みがあればお答えください。（例、基礎学力の強化、面接指導の充実、企業開拓など。記述で）

***H 経済状況が不安定な中、様々な雇用対策が政府を始めとして実施されています。都道府県で、高校生の雇用拡大に向けた政策状況をお聞きます。分かる範囲でお答え下さい。（記述で）**

II 新たなキャリア教育の推進について

Aは共通質問、Bは普通高校が回答、Cは専門高校が回答してください。

総合学科高校は今回の調査では専門高校の欄で回答してください。

A（共通質問）キャリア教育の推進に向けて

1. 貴校では、キャリア教育の推進に向け、学校で3年間の指導計画の作成を行っていますか。
 - ①ある ②現在作成中 ③ない
2. 貴校では、キャリア教育推進のための事例紹介集や事例発表報告会などを行っていますか。
 - ①ある ②現在計画中 ③ない
3. 2で①の場合、どのような内容で実施されていますか。簡潔に記述で。
- *4. 各県では、キャリア教育推進のための教員向け研修会が開催されていますか。
 - ①ある ②現在計画中 ③ない
- *5. 県内では高校に対しどのようなインターンシップ・職場体験に関する施策と支援がありますか、簡潔にお答えください。
 - ①. 県に施策があり、インターンシップ・職場体験を学校が取り入れることに支援があった。
 - ②. インターンシップ・職場体験を学校が取り入れることに協力する姿勢がある。
 - ③. 現在計画はない。その他
- *6. 5で①の場合、以下のどのような施策がありますか。記述で答えてください。また、どのような支援がありますか。（複数回答可）
 - ①企業幹旋 ②引き受け企業への補助金 ③担当教員の研修 ④関係企業との協議会開催 ⑤生徒の旅費補助 ⑥学校への予算的措置 ⑦教員配置の配慮（加配や補助員などの配置） ⑧その他（記述で）
7. キャリア教育コーディネーターの配置・活用の状況について
 キャリアコーディネーターとは、キャリア教育を推進するために広く学校外部との渉外にあたる学校外部の者で、生徒や教員などに対して職業観の育成や進路指導に必要な情報や支援などを提供する者として。
 - ①. キャリア教育コーディネーターを配置・活用している。
 - *②. ①の数値を%でお答えください。（全県の学校の約何%で配置）
 - ③. ①の具体例を簡潔にお答えください。（名称と業務内容など）
 - ④. キャリア教育コーディネーターの配置・活用計画がある。
 - ⑤. キャリア教育コーディネーターの配置・活用計画はない。
 - ⑥. その他
- *8. キャリア教育を推進するため、県全体で取り組んでいる施策がありましたら、記述で回答してください。

B 普通高校でのキャリア教育（普通高校が回答してください。専門高校はCの設問へ）

1. 普通高校におけるキャリア教育の実施状況をお聞きます。
 - ①. キャリア教育を実施している。
 - *②. ①の数値を%でお答えください。（県全体の普通高校で約何%で実施）
 - ③. ①の具体例を簡潔にお答えください。
 - ④. キャリア教育の計画がある。
 - ⑤. キャリア教育をする予定がない。
 - ⑦ その他

2. 県内（各校）のインターンシップ・職場体験の実施状況をお聞きます。
 - ①. インターンシップ・職場体験を取り入れて、実績もある。
 - *②. ①の数値を%でお答えください。（県全体の約何%の学校で実施）
 - ③. インターンシップ・職場体験を取り入れることを検討、計画している。
 - ④. インターンシップ・職場体験を取り入れてない。
 - ⑤. その他
3. インターンシップ・職場体験を学校が実施する場合の課題・障害をお聞きます。（複数回答可）
 - ①. 学校目標等にそぐわず校内で合意が得られにくい。
 - ②. 教員の知識・研修・経験が不足している。
 - ③. 現状で実施するには、実施先との協議・準備の時間が必要である。
 - ④. その他
4. 行政機関との連携によるキャリア教育の実施状況をお聞きます。
 - ①. 行政機関との連携によるキャリア教育を実施している。
 - *②. ①の数値を%でお答えください。（全県の学校の約何%で実施）
 - ③. ①の具体例を簡潔にお答えください。
 - ④. 行政機関との連携によるキャリア教育の計画がある。
 - ⑤. 行政機関との連携によるキャリア教育をする予定がない。
 - ⑥. その他
5. 企業との連携によるキャリア教育の実施状況をお聞きます。
 - ①. 企業との連携によるキャリア教育を実施している。
 - *②. ①の数値を%でお答えください。（全県の学校の約何%で実施）
 - ③. ①の具体例を簡潔にお答えください。
 - ④. 企業との連携によるキャリア教育の計画がある。
 - ⑤. 企業との連携によるキャリア教育をする予定がない。
 - ⑥. その他
6. キャリア教育を学校が実施する場合の課題・障害をお聞きます。（複数回答可）
 - ①. 学校目標等にそぐわず校内で合意が得られにくい。
 - ②. 教員の知識・研修・経験が不足している。
 - ③. 現状で実施するには、準備の時間が必要である。
 - ④. 特に大きな問題はない
 - ⑤. その他
7. キャリア教育を推進するための校内研修についてお聞きます。
 - ①. 校内研修を実施している。
 - ②. 校内研修を実施していない。
 - ③. 校内研修を計画中である。
 - ④. その他
8. 進学（4年制大学）希望生徒が80%以上の普通高校において、キャリア教育を推進している事例がありましたら、2例以内に記述をお願いします。
- *9. 現在、普通高校におけるキャリア教育の推進が課題となっています。県単位（県教委）で普通高校を対象とした取り組みについて記述でお答えください。

C 専門高校でのキャリア教育（専門高校が回答）

1. 専門高校におけるキャリア教育の実施状況をお聞きます。
 - ①. キャリア教育を実施している。
 - *②. ①の数値を%でお答えください。（県全体の専門高校で約何%で実施）
 - ③. ①の具体例を簡潔にお答えください。
 - ④. キャリア教育の計画がある。
 - ⑤. キャリア教育はする予定がない。
 - ⑥. その他
2. 県内（各校）のインターンシップ・職場体験の実施状況をお聞きます。

- ①. インターンシップ・職場体験を取り入れて、実績もある。
 - *②. ①の数値を%でお答えください。(県全体の約何%の学校で実施)
 - ③. インターンシップ・職場体験を取り入れることを検討、計画している。
 - ④. インターンシップ・職場体験を取り入れてない。
 - ⑤. その他
3. インターンシップ・職場体験を学校が実施する場合の課題・障害をお聞きします。(複数回答可)
- ①. 学校目標等にそぐわず校内で合意が得られにくい。
 - ②. 教員の知識・研修・経験が不足している。
 - ③. 現状で実施するには、実施先との協議・準備の時間が必要である。
 - ④. その他
4. 行政機関との連携によるキャリア教育の実施状況をお聞きします。
- ①. 行政機関との連携によるキャリア教育を実施している。
 - *②. ①の数値を%でお答えください。(全県の学校の約何%で実施)
 - ③. ①の具体例を簡潔にお答えください。
 - ④. 行政機関との連携によるキャリア教育の計画がある。
 - ⑤. 行政機関との連携によるキャリア教育をする予定がない。
 - ⑥. その他
5. 企業との連携によるキャリア教育の実施状況をお聞きします。
- ①. 企業との連携によるキャリア教育を実施している。
 - *②. ①の数値を%でお答えください。(全県の学校の約何%で実施)
 - ③. ①の具体例を簡潔にお答えください。
 - ④. 企業との連携によるキャリア教育の計画がある。
 - ⑤. 企業との連携によるキャリア教育はする予定がない。
 - ⑥. その他
6. キャリア教育を学校が実施する場合の課題・障害をお聞きします。(複数回答可)
- ①. 学校目標等にそぐわず校内で合意が得られにくい。
 - ②. 教員の知識・研修・経験が不足している。
 - ③. 現状で実施するには、準備の時間が必要である。
 - ④. 特に大きな問題はない
 - ⑤. その他
- *7. 専門高校でキャリア教育を推進するために県単位(県教委)で取り組んでいることを記述でお答えください。

Ⅲ (共通) 本就職対策委員会は就職状況やキャリア教育の高等学校での在り方について研究・協議を担っていますが、全国の校長会の委員会として今後の本委員会の在り方についての提言があればお願い致します。